

□議員名：杉本 保喜

1 選挙の投票率向上策について

論点	総務省が、国政及び地方選における投票率向上策の検討を始めたが、市の対策としての方向性はどうか。
回答	より投票し易い投票区の区割り等の見直しを進めるが、総務省の対策が実現されればこの問題も解消されると考える。ショッピングセンターでの投票は、山口市と異なる接続回線のため、実施が困難である。

論点	こども市民教育推進事業での選挙啓発事業はどのように進めるのか。
回答	選挙に対する意識の啓発は、出前授業を市民教育推進事業として27年度から実施する。 選挙を通じて持つべき政治に対する姿勢は、こどもたちにおいては、学級会等において自分たちで決める体験等からできていくと考える。

2 防災力、減災力向上策の進捗状況について

論点	J－A L E R Tの試験結果と問題点は何か。
回答	設置されている4か所の装置は、問題なく作動した。 J－A L E R Tと防災ラジオとの連動は検討している。 頒布した防災ラジオの受信状況は、個別に確認していない。

論点	災害の多い梅雨に備え、その準備、排水ポンプ試験等の対策の状況はどうか。
回答	農林水産課、建設部所管分それぞれの担当排水ポンプ施設は、総点検、試運転等実施し、可動状態を維持している。

論点	避難勧告の発動時期遅れを防止するための対策はどうか。
回答	水害、土砂災害、高潮等に対して、避難勧告と判断・伝達マニュアルを作成し、発令の判断基準を定めている。

論点	市が管理する建築物の耐震状況と今後の対策等はどうか。
回答	埴生小学校を除き、学校は25年度で終了。市民病院、山陽総合事務所は建て替え中であり、市役所、オートレース場は、今年度耐震診断を予定している。現時点では、公共施設の耐震化について優先順位など具体的なことを示すことはできないが、この取組みの過程では積極的な情報公開を行い、市民の方々への十分な説明を実施する。

論点	当市での自主防災アドバイザー制度の活用策はどうか。
回答	自主防災アドバイザーの存在は、貴重であり必要不可欠であると考えている。当市もあらゆる機会を捉えてこの制度の活用を図りたい。

3 本市における土曜授業への対応について

論点	今年度から正規の土曜授業が解禁されたが、今後の方針と実施についてどのように考えているか。
回答	当市では、「心ときめき教室」や「こども市民教育推進授業」、また、学校も土曜日に参観日や音楽会、文化祭等の教育活動を行っている。教育委員会として現時点では土曜日に正式な授業を行うことは考えていない。今後の国県の動向や他市の状況を注視していきたい。